

2016年6月15日

報道関係各位

田辺三菱製薬株式会社

～「走る」ことで難病 ALS の疾患啓発を世界中に展開～
END ALS RUN への協賛
6月21日の世界 ALS デーに先駆けて6月19日にイベント開催

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之、以下「当社」）は、6月21日の世界 ALS デーに先駆け、6月19日に一般社団法人 END ALS（代表：藤田 勝正）が主催するイベント「END ALS RUN（以下、「本イベント」）」に協賛いたします。

【本件のポイント】

- 田辺三菱製薬は神経難病である ALS の疾患啓発イベント「END ALS RUN」に協賛します。
- 「END ALS RUN」は **6月21日の世界 ALS デー** に先駆けて、「走る」ことを通じて、**世界中で ALS の認知・理解を高める**ことをめざします。
- **6月19日に都内** でリアルイベントが開催され、その後、**オンラインで世界中のランナーが参加** できるイベントを展開します。

END
ALS
RUN

【本件の概要】

本イベントは神経難病である ALS（筋萎縮性側索硬化症、Amyotrophic Lateral Sclerosis）の疾患啓発のために行われるものです。ALS は運動神経が選択的に変性・消失し、四肢、呼吸、発語、嚥下等に関する筋力の低下と筋萎縮が進行性に起こる神経変性疾患です。ALS の発症はフリーラジカルによる酸化ストレス傷害が原因の一つと考えられていますが、原因は特定されておらず、治療法は確立されていません。

END ALS の創設者である藤田 正裕氏は、2010年に ALS と診断されました。徐々に病態は進展し、現在は目だけが動かせる状態ですが、難病とたたかいながらも、END ALS を通じた疾患啓発活動を継続しています。当社は END ALS の活動趣旨に賛同し、“ともに難病とたたかう”という思いのもと、本イベントへの協賛を決定いたしました。



END ALS 創設者 藤田 正裕氏

本イベントは、6月19日に東京都 渋谷区で行われる「リアルランイベント」と、同日より世界中のランナーが参加できる「デジタルランイベント」から成ります。

- 「リアルランイベント」では、事前に登録した約100名のランナーが、身体が奪われるALSの病態の対極である「走る」という行為を通じて、象徴的、物理的にALSへの想いを表現します。
- 「デジタルランイベント」は、参加登録した世界中のランナーが走った距離をオンラインで集計して、目標距離10万kmの達成に挑戦します。

また、これらのイベントの参加者に情報を拡散していただくことで、ソーシャルアクションとして活動を広げていき、ALSの認知・理解を高めていくことをめざします。

【END ALS RUN の概要】

日時：2016年6月19日（日） 荒天中止・雨天決行。

13:00～14:00（受付 12:30） 第1部 トークイベント（仮）

14:30～16:00（受付 14:00） 第2部 リアルランイベント（イベント内でGORON[※]実施）

場所：東京都渋谷区神宮前4丁目25-12 MICO 神宮前

デジタルランイベントの詳細は、以下のEND ALS のウェブサイトをご覧ください。

<https://end-als.com/run/>（6月19日オープン）

イベントに関するお問い合わせ先：

一般社団法人 END ALS PR事務局 大木 美代子 氏

携帯：090-3041-6932 MAIL：miyoko.ohki@mccannwg.com

*GORON（ゴロン）とは

ゴロンと寝転がったまま動かない状態を維持することで、ALSの症状の特徴である「意識はあるが筋肉が動かない状態」を疑似体験します。

【END ALS 創設者 藤田 正裕氏のご略歴】

(株)マッキャンエリクソン、プランニングディレクター／一般社団法人 END ALS 創設者

1979年東京生まれ（36歳）。2004年4月(株)マッキャンエリクソン入社、戦略プランニング局で、PR／インフルエンサーマーケティング、ブランド・コミュニケーション戦略の企画・立案を担当。

2010年11月に筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断。翌年3月から車椅子生活に入り、2012年1月に人工呼吸器。そして、2013年1月に気管切開し、声を失いました。以来、視線とまばたきでコンピュータを操作する「アイトラッキング（視線伝達機器）」システムを利用して、広告会社での仕事やEND ALSの活動等を行っています。

« 本件に関するお問い合わせ先 »

田辺三菱製薬株式会社 広報部

TEL：06-6205-5211